私は暗い廊下を一人で歩いていました。
なぜ私がこんな所にいるのか思い出そうとしても頭に霧がかかったようで全く思い出せませんでした。
ヴィヴィオ
嫌ッ!!
はなしてッ
何するんですかっ
大人しくしろっ!
嫌ぁッ だれかッ
ガッ
ぐッ
嫌あっ
あッ
離してッ
ビクンッ
可愛いねえ
嫌ッ!!
やだあッ 嫌ぁァッ!!
ビクンッ
何なんですか あなた達はッ!!
やめてッ
暴れんなって
明かりの漏れている部屋に入るとたくさんの男の人達がいて私のことを組み伏せようとします。
私は精一杯 抵抗しましたが何故かまるで体に力が入りません。
どうしてっ

やめて下さいッ!!
こんな事だめ
男達は私の事を強姦しようとしている…
私はそれに気づき必死で止めてと叫びました。
オイ…
うるせーからさ
さっさと
黙らせようぜ…
しかし男達は
私の口をガムテープで塞ぎ
声を出せないように
したのです。
それじゃ処女
いっただっきま～す
お前
じゃんけん
マジで強いよなー
そして…
私は強姦されました。

指すら入れたことの無かった場所に
男の人の性器が出入りする感覚…
破瓜の痛みと内臓が突き上げられる
感覚に何度も叫びたくなりました。
やっぱ
初物はいいいね～
締りが違うね！
ですが
そうしようにも
私の口は塞がれていて
どうにもなりません。
おいおい
いいからさっさと
出せよ…
…出す？
出すってまさか！
嫌あぁぁぁぁっ！
嫌あっ！
はいはい
もう出します
よっ…と
助けっ
助けて
嫌っ！
やだっ！
ついに私を犯していた男が
私の中に精液を出しました。
私は学校の授業でこれが
何を意味するか知っていました…

私は代わる代わる
何人もの男達に
犯され続けました。
何度も…何度も…
私がついに
気を失ってしまうまで…

く…
いい締まりしてやがる…
たっぷり中に
ぶちまけてやるからな…！
乱暴に犯され
一番大切な場所に精液を出され
私は悲鳴をあげました。
口を塞いでいたものが
とれてしまうほどに。
ですが…
それが他の部屋から
別の男達を呼び寄せる
結果となってしまったのです。

ゴプッ
これが好きなんだろ！
たっぷり出してやるよ！
ドプッ
物欲しそうな
顔してんじゃねえよ
私は
男達の陵辱に
必死で耐えました。
こんな痛みに
耐えられないようでは
覇王の悲願は達成できない
…と自分に言い聞かせて。
痛くない…
痛くないっ！
あ…
アレやっとかねーと

ごめんな…
え…？
今 私、何された……？
ファーストキスが後回しになってて…
今…私…唇…初めて…
う…ッ
しかし…私を乱暴に犯していた男に優しく口づけされた時…私の中で何かが壊れてしまいました。
おー反応よくなった！
あとで俺にもやらせてー
やっぱこうじゃないとレ○プって気がしないよな！
決して流すまいと思っていた涙は堰を切ったように溢れだし感情を制御できなくなった私は子供のように泣きじゃくりました。

そんな私の姿を見て
男達はますます乱暴に
犯すようになりました。
ズブッ ズブッ ズブッ
ズブッ ズブッ
ギクッ ギクッ
やだあぁ～～ッ
嫌ああ～～ッ
やめてえッ 抜いてえッ
ビクッ ビクッ
何十人もの男が私の膣で
ペニスを擦り上げ
私の子宮に精液を浴びせて
いきました。
やぁぁッ 嫌ぁ～ッ
ビクッ
もう中で 出さな
ドプッ
ドプッ
ドクッ
ビクン
やがて私は意識を失い
ひとまずその行為から
解放されました…

これがとある研究施設での日常です。
鋭い方なら既にお気づきでしょうが、
犯されている少女達はヒトではありません。
彼女達は「マリアージュ」とよばれる
現実の少女の姿を模した魔法生物なのです。

そして、
この施設の研究員達は
その「マリアージュ」の研究を行っています。

この本に記載されているのは、
その研究員達のレポートなのです。

では、彼らの日々の
研究報告を少し覗いてみましょう。

操作系魔法による
強制的な口淫には
従来のように
面倒な腰や手の動きは
必要なく
少女が高速で頭を振り
喉奥までペニスを
挿入してくれるため
「射精にだけ
集中できて良い」
と研究員の評判も
上々です。

中に出すぞ ありがたく思え！
現在のところの問題点としては…
うっ… 出るっ！
やりすぎて少女達がすぐ使い物にならなくなってしまうことぐらいです。

本日捕獲したサンプル
「ハリー」と
「ミウラ」に対する
「リオ」による
継続実験のレポート。
研究員Ｊ（Ｃ班）
おーいいねー
何なんだよお前らッ
ゴッ
ズザッ
何でこんなするんだッ
ズリ
ズッ
まだこんなに抵抗するんだな
「第二世代マリアージュ」は
現実世界の人間と同様の
記憶と形態を取る事が
判明している。
ビクッ
だれか助けてぇっ
その目的は「精液の採取」であり
およそ五人分の採取で
性行為に対し悦びを感じ虜になる
「第二フェイズ」に移行する。
ジュプ
ミチッ
ミチッ…
おいリオ
やれ！
はい…！

だが我々は「強力な電撃」によって
彼女達を「第二フェイズ」状態にさせない方法を発見した。

これは我々にとって
大きな希望となった。
もう電気止めて下さいッ
お俺
もう少しで出そうだ
リオー
こっち来ーい
何でもします
電気だけは嫌あッ
折角 毎日少女を
犯せるというのに
どれもが好きものでは
興ざめにもほどがある。
俺の方には電流流すなよ？
上手くできたら
精液舐めさせてやる
止めてぇ
お願い!!
はいっ！
リオさんっ
どうか…

嫌っやめ…
ボクのお[redacted]んこ
ドクンドクン
ドクンドクン
壊れ…っ
壊れちゃ…
ヴヴヴヴヴヴッ
ビクッビクッ
ビクッビクッ
ギクッギクッ
プシャア
うおっ！
電撃で膣が痙攣して…
すげぇ気持ちいいっ！
くっ！
ドプッ
ドプッ
おあああ
C班（われわれ）は少女の
嫌がりながら
陵辱される顔が
見たいのだ。

その為には日々
研究を続けなければ
ならない。
おーいリオ
こっちこーい
動かなく
なっちまったなー
ちょっとこいつら
我々には
休む暇などない。
キツイやつ
一発食らわせてさ
休む暇などないのだ。

本日捕獲したサンプル「ミカヤ」と「ヴィクトリア」に対するプレイのレポートになります。
研究員G(E班)
体さえ自由なら
エルスさんっ どうしてっ!?
どうしてあなたが こんな事を
ズ
ズ
ズ
ズ
ジュプ
ジュプ
ジュプ
ジュプ

今回は鎖バインドプレイと
相性の良い胸の大きな二人を
選出しましたが、
先の実験で「雷系魔法使い」の
別用途での有用性が高まったため
「暫くこの体を堪能できなく
なるかもしれない」と
研究員達が
ヴィクトリアに殺到しました。

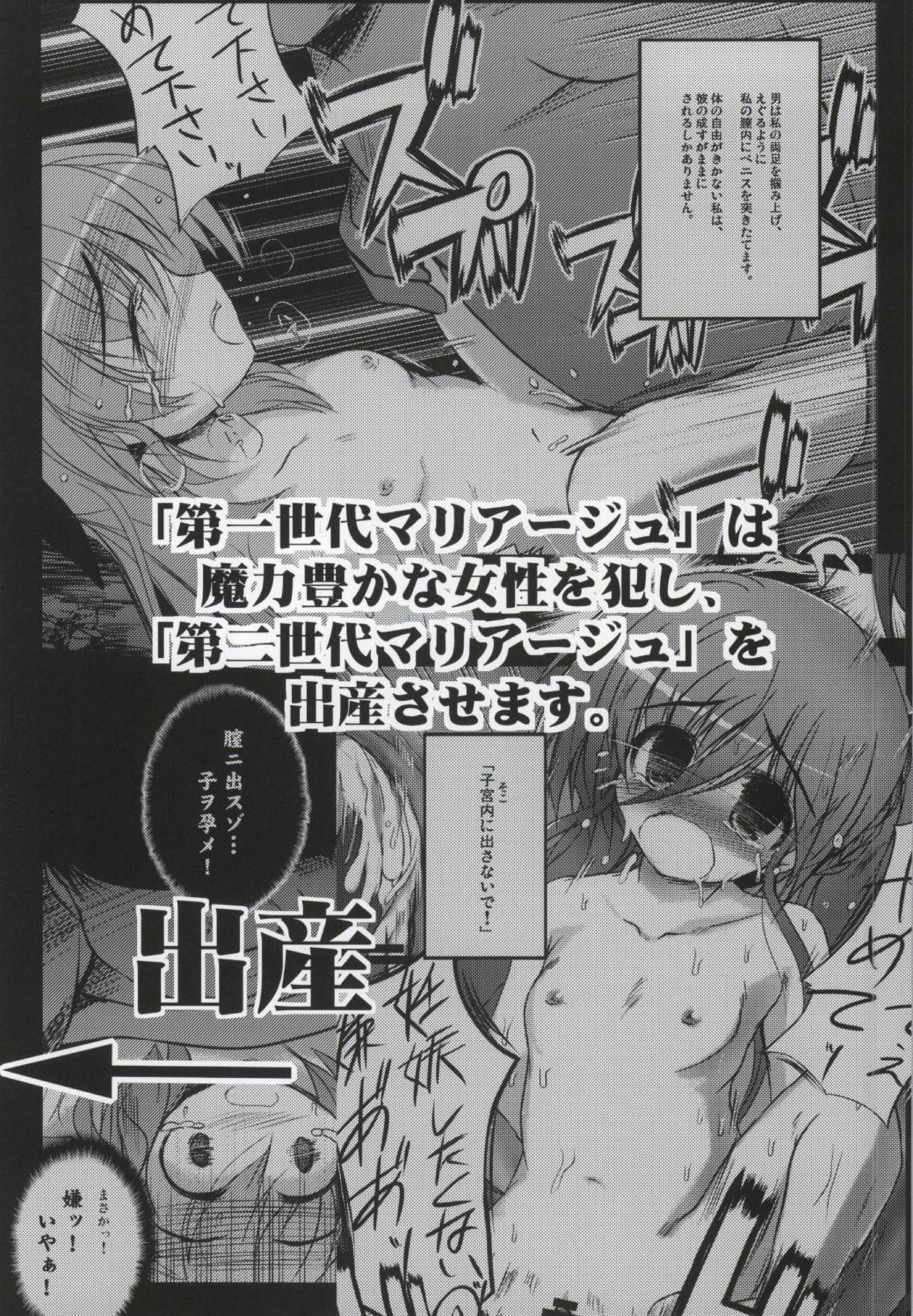
鎖バインドは体の至る所に
付ける事が可能で
付ける事自体には痛みを
伴わない為・・・
やめてえぇッ
だけはッ
お願いいッッ
ゴプッ
ゴプッ
雷帝の血筋を重んじる
ヴィクトリアに
「膣内射精した精液が
子宮に流れ込んでいくのを
見せつける」など
どくっ
どくっ
ほーら
この鏡で見せてやるよ
俺らの精液が
確実にお前の子宮に
入っていってる姿をな!
嫌ああああっ
嫌っ!嫌ッ
ああああ
嫌ッ
肉体的苦痛ではなく
精神的苦痛を与え
陵辱する為に
活用されていました。

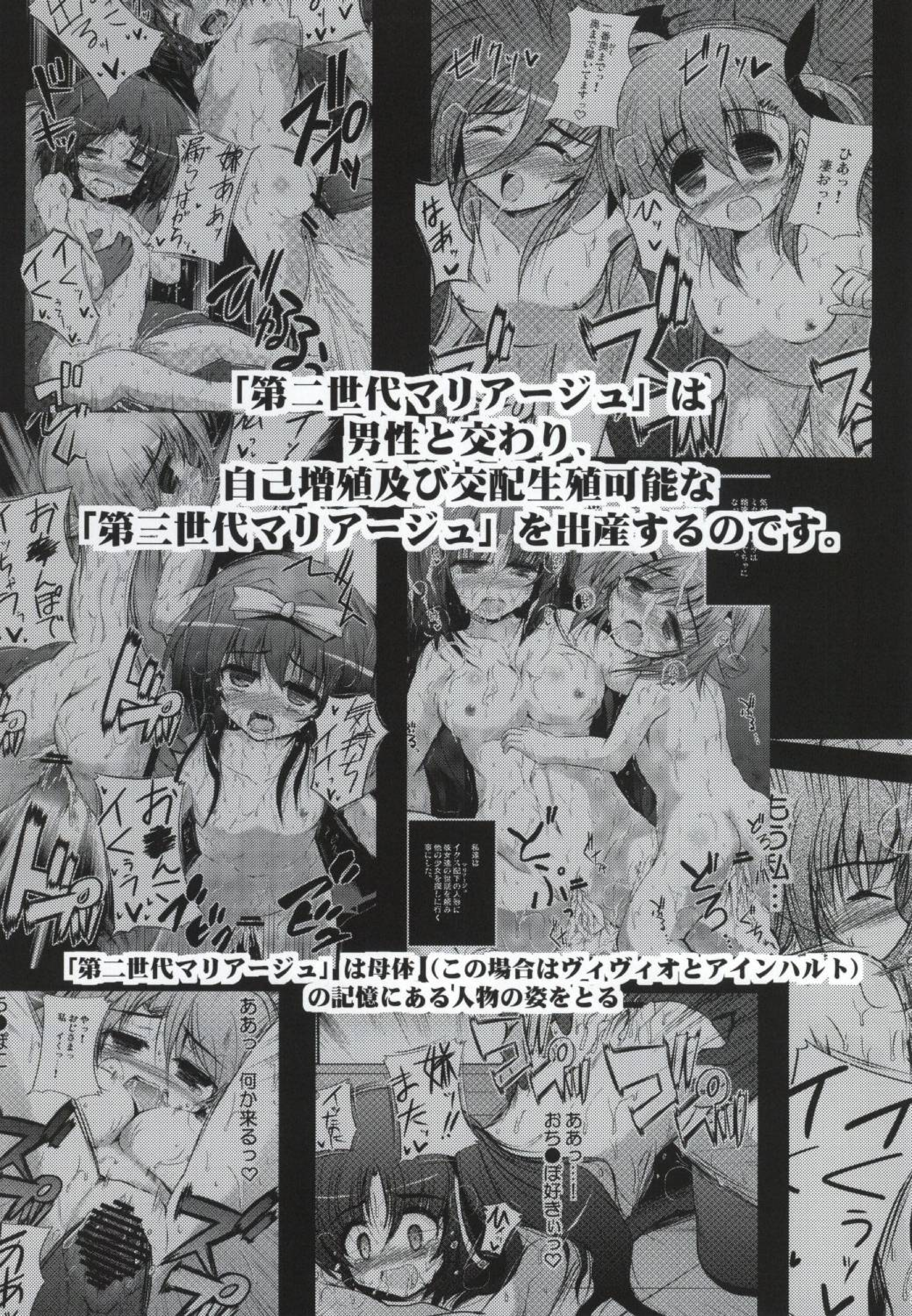
そして約五時間…
二名とも
ほぼ動かなくなった為
小休止をいれ…
ちっ… 反応
無くなっちまったな…
鎖で動かすのも
限界か…
おーい
いいの借りてきたぞー
その間
再度プランを見直し
別の実験を行う事に
しました。
じゃリオ
よろしく頼むよ
はいっ!
次はリオタイプだけでなく
エルスタイプも
別部署から借りてきて
試してみたいと思います。
ついでにこっちも
やってくれ
はいっ!
そのレポートは
おって報告します。

目的の為…
次元世界を旅し
空を見上げながら
イクスヴェリア
私は
あの研究室での事を
思い出していました。
私を犯せ
……だと？
突然 閉じ込めておいて
こんな事させておいて…
わかったよ！
ヤれってんなら
やってやるよ！

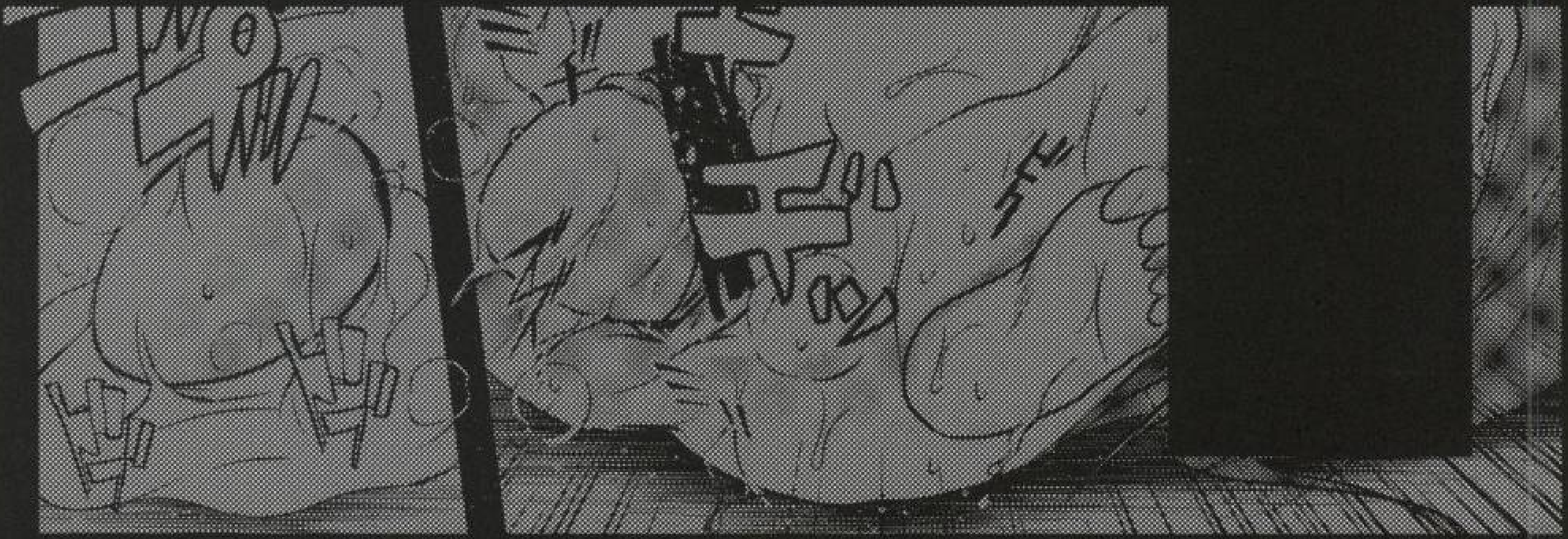
痛そうなフリしてんじゃねえよ！どうせすぐち●ぽくれって言い出すんだろ!?
何か…コイツ嫌がってる顔…そそるな
他のとはモノが違う感じだ…！
おい俺にもやらせろよ！
ほんとだこりゃいいや！
ほらほら中出しだぞ！

男達は次々に
貪るように
私を犯しました。
んぅ〜
いきなり
閉じ込めやがって！
ナカダシ
膣内射精されて
反省しろ！
どくっ
どくっ
ですが
私にはそれくらいしか
償う方法が無かったのです。
あっあっ


男は私の両足を掴み上げ、
えぐるように
私の膣内にペニスを突きたてます。
体の自由がきかない私は、
彼の成すがままに
されるしかありません。
「第一世代マリアージュ」は
魔力豊かな女性を犯し、
「第二世代マリアージュ」を
出産させます。
「子宮内に出さないで!」
膣ニ出スゾ…子ヲ孕メ!
出産
まさかっ! 嫌ッ! いやぁ!



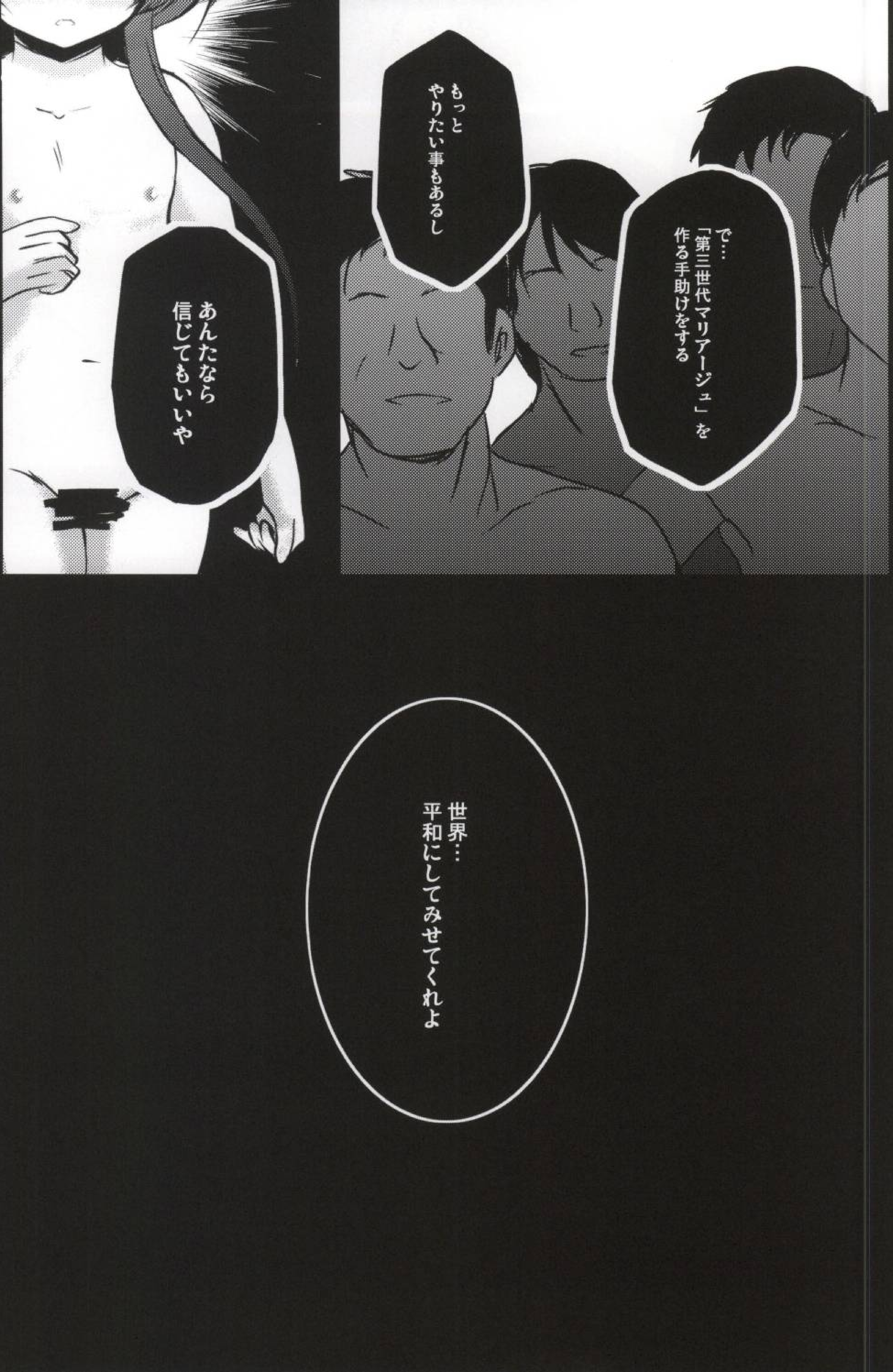
ヴィヴィオ アインハルト	+	研究員達	の遺伝子を使って増殖
女性（母体）		男性	



そして「第三世代マリアージュ」は
世界に「マリアージュ細胞」を散布し、
それに汚染された生命は私に思考が筒抜けになり、
私の意志で燃焼、爆破させることが可能になる。

私は世界の生けとし生けるものの心を盗み見、生殺与奪の権利を得る。
それが古代ベルカに作られたイクスヴェリアの実態。

もうここから脱出してもらって大丈夫です
許してもらうつもりもありませんが…皆さん 本当にご迷惑をおかけしました…
許すぜ 俺たち
!?
そうだなー わけわかんなかったからモヤモヤしてたけど いい目にしかあってねえし
むしろ 出て行きたくないくらいだよ…
ここで問題があった事が分かったら当然処分されるからな
それは… 私が命に替えても皆さんをお守りします…!
それは… まあ ありがたいんだけど…
俺ら 極秘研究のために集められたから身寄りも無いんで…
別に外の世界に未練があるわけじゃないんだ…
このマリアージュの詳細レポートによると「第二世代マリアージュ」はまだ生まれてくるんだろ?
俺らはここに残るよ



で…「第三世代マリアージュ」を作る手助けをする
もっとやりたい事もあるし
あんたなら信じてもいいや
世界…平和にしてみせてくれよ

あっ♥ まれるっ♥
たまごっ♥♥♥ 生まれるっ♥♥
ボゴッ
ゴッ
ボゴォ
ズズズズ
あっはぁ♥♥ お[redacted]んこイイッ♥♥
産卵で♥♥ 私っ イッちゃう♥♥
そして 専用のフロアに移動させられ、 そこでずっと 「第三世代マリアージュ」を 出産し続けるのです

あ…
ビクンッ
しかし、全てが「第三世代マリアージュ」というわけではなく
鳥類でいうところの無精卵のようなものが混ざっており…それからは「第二世代マリアージュ」が生まれます
ガガガガガ
ビク
ビク
イクスヴェリア
マスターのプログラムで、「第三世代マリアージュ」は外に…
イクッ
ああっ
「第二世代マリアージュ」は階上の男性達がいるF2フロアに移動します。

F2フロアでは
研究員の皆さん達が
もう止めッ
嫌ぁッ
さまざまな
実験を行っています。
うっ…
出るっ…！

「リオ」型と「ヴィクトリア」型は実験で有用なため…
おまた誰かきたな
誰だろうなー
リオかヴィクトリア欲しいな
やった！これリオじゃん！
前のはうっかり使いすぎちゃったからな良かったー
……？
真っ先に確保され従順になる処理がなされます。
何ッ!?
だれっ
あーもう大人しくしろ！
止めてっ!!
私達は男性相手には抵抗する力が失われるので捕縛は容易です。
抵抗すんじゃねえよ！
どうせお前らは力じゃ俺らに敵わねえんだよ！
んごぉ

動くなよー
たっぷり流し込んで
やるからな…
やめ…て…
「第二世代マリアージュ」は
精液を摂取させれば
従順になるのですが
嫌っ…いやっ
お願いです…
頭真っ白になって
精液の事しか
考えられなくなるぞ〜
性器に精液を
与えすぎると
「第三フェイズ」に
移行してしまうので…
ヌプ
プ
精液は
最も思考に
影響を与えやすい
鼻から摂取させます

十分に精液を摂取させれば…
ちょっとやりすぎた感もあるけどな
ゴボッ
ゴボッ
ビク
ビク
プシャア
あーあー漏らしちゃってるよ…
ドキ
ドキ
!?
何これ…
ドキ
ドキ
さっきの精液が欲しくて…堪らない…
ドクン
ドクン
ドクン
命令を聞かせることは容易になります
まあいいやさあリオ
体が火照って…
彼女達はもっと精液が欲しいという欲求に抵抗できなくなるので
あいつに電撃を食らわせてくれ!
あとでいっぱい精液飲ませてやるからさ

実験により「第二世代マリアージュ」は最初の精液を摂取する前に5分以上電撃を与える事により淫乱になるのを防ぐ事が可能だとわかりました。
よーし そろそろいいぞ
よくやったな リオ
大体の部署では まず この処理が行われます
さて…じゃあ 初めて見るこいつの 初物をいただくか
おー外見通り キッツキツだわ！
肉裂いてる感 たまんねえ！

折角 初めてを
強制肉オナホに
するんだったら…
名前くらい確認
しておけば
よかったかなー
まーいいや！
オナホに名前なんて
いらないし！
まッおッ
魔女の誇りを
傷つけた者はッ
未来永劫
呪われよッ
んはッ
ぷはッ!!

へーこいつ
ファビアって
いうんだ…
っと 出るっ！
貴様らッ
もう止めッ…!!

「第二フェイズ」にはいる平均人数を把握することが目的だそうです
ずっと声我慢するんだよ
エルスタイプは
んぎッ…
んぎッ
犬みたいに犯されるのが好きなくせに！
休ませてお願いです
ルーテシアだっけ？レアものは研究しがいがあるな
それ以外は特に大きな取り決めもなくみんな自由に研究をしています
止めて本当に

ほら！全部飲め！
溺れるくらい出してやる！
毎日いっぱい精液を出して
一生懸命研究をしている姿はとても尊敬できます

私達はもうすぐ「第三フェイズ」に入るので
ミチッ ミチッ…
ギクッ ギクッ
鬼ッ!! 人でなしッ!!
もうあまり研究のお手伝いをする事はできませんが
ゴッ ゴッ
助けてぇ!! やめてぇ!!
また機会があれば研究員さん達といっぱいえっちしたいです❤

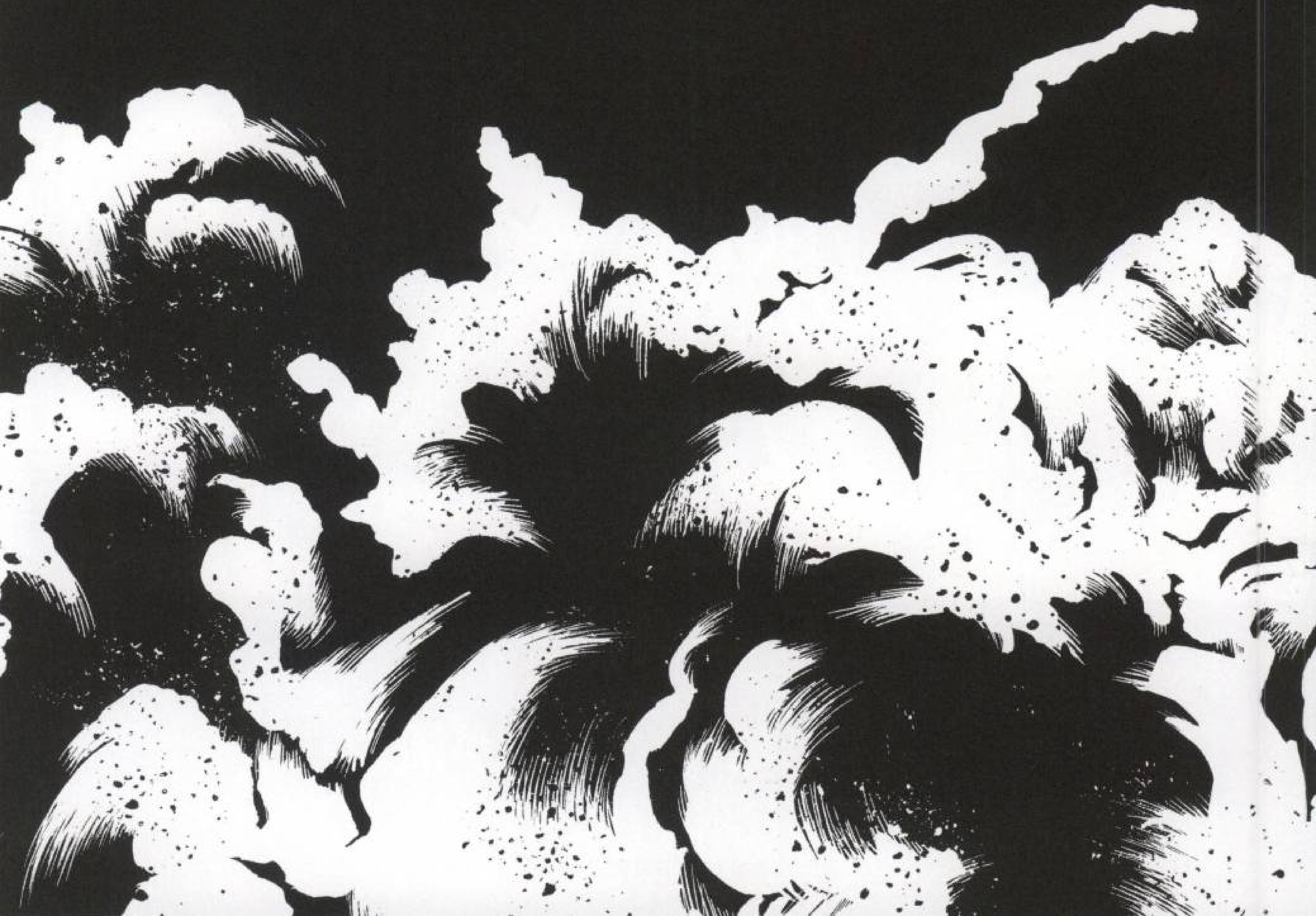
よーし！じゃあ…
ご褒美に朝までずっとしてやるからな！
俺の精子体に貯めこんで…
あんっ♥
元気な子供生むんだぞ！
あと1人
最後は
あん♥
…それから数年の月日が流れ…

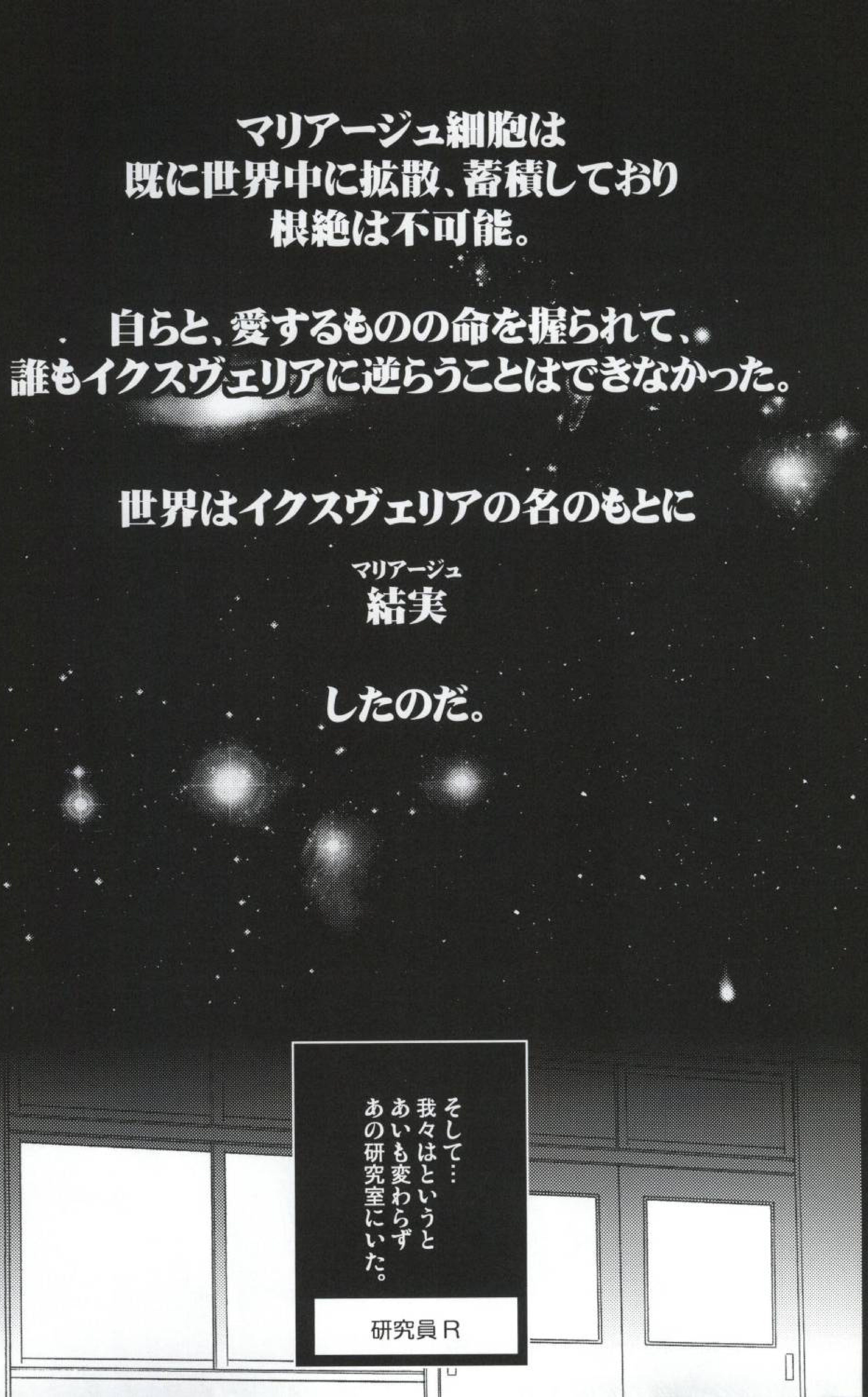
X-DAYは訪れた。

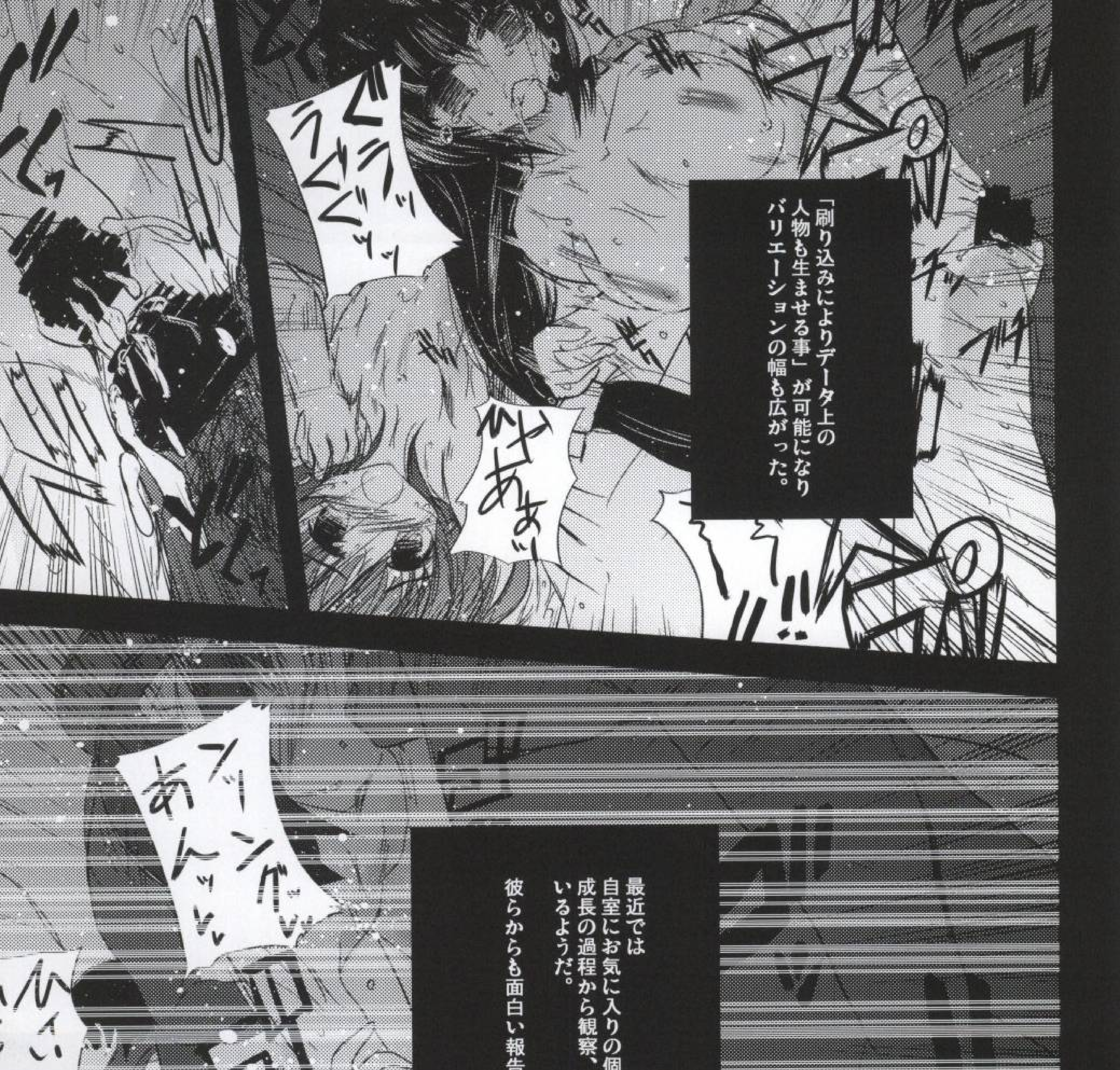
世界中にイクスヴェリアから
表明が出されたのだ。

戦争、紛争行為の停止、
理不尽な暴力行為の禁止を要求する。

警告を受け、なお従わないものは爆破する…と。




マリアージュ細胞は
既に世界中に拡散、蓄積しており
根絶は不可能。
自らと、愛するものの命を握られて、
誰もイクスヴェリアに逆らうことはできなかった。
世界はイクスヴェリアの名のもとに
結実（マリアージュ）
したのだ。
そして…
我々はというと
あいも変わらず
あの研究室にいた。
研究員R



いつか……　そのレポートも
貴方の目に留まることがありますように。

X-Report　Fin.

『NextPreview』サークルインフォメーション

http://preview.sakura.ne.jp/

『NextPreview』はMIAと春日木雅人が、
まったりとやっているサークルです。

現在の活動ジャンルは
『魔法少女リリカルなのは』です。

イベントは、夏コミ冬コミを中心に、
色々なイベントに参加しています。

HPも…それなりに更新してますので、
どうぞ見にきてください。

既刊紹介

同人誌即売会にて、配布中です☆

この感覚・・・
侵入者？
船の異変に気がついたのは
私が「ゆりかごの聖王」
として眠りについて
しばらく後のことでした
貴方たち、反聖王連合の
手のものですかっ…？
一体どうやってここに？
いえ…
どのような輩であろうと
この玉座の王オリヴィエの
名にかけて、この船から
退場していただきます！
ゆりかごの中での
聖王は絶対…
その時の私は気がついて
いなかったのです
自分の身体の異変に…
ばん

玉座の王として時を過ごし過ぎた私の身体は…既に戦闘に向かないものになっていました
身体の制御が…
魔力が減退してる？
私を殺しても無駄ですよ…
ゆりかごは、既に命令を自動遂行するモードに入っています
主が玉座の王としてリセットでもされない限り、私が死んでも…
そう、ワレワレの目的はあんたの腹の中の聖王核だ
ずどん
はっ…
がっ
ビキビキ
私の聖王核は既に身体と一体化している…
無理に取り出しても…

そして…
お、聖王さま
ちゃんと処女だな
エライエライ
少しほぐしとくか…
何を馬鹿なことを…
その、私は、命を生み出すことが…
なので、性的対象としては…
あと、へんなとこ
触るのやめてください…
そう思ってるのはアンタだけだよ
クラウス王子も可哀想に
こりゃガチガチだな…
あんたの子宮の代わりに埋まってる聖王核は
精液に含まれる他人の遺伝子で汚染されると
適合率が変わって拒否反応がでちまうんだとよ
まあ、俺たちの狙いもそこなんだがな
爺さんたちに言われてたろ？
「玉座の王は絶対に純潔を守れ」って…
聖王家が警戒してたのは
シュトゥラ王家でなくて王子様の
ロイヤルキ〇タマってわけだ
クラウスと私は
そんな関係ではありません！
クラウスだって…
ハアッ
ハアッ
んなわけないだろ…
一度でいいから姫様と
ヤりたかったろうにな…
こりゃ、子孫代々まで
祟るんじゃないか？
…心底、哀れな王子だ
グチュ
グチュ
だいぶ
濡れて
きたか…？
そんな…
とはいえ、姫様も可哀想だよな…
はっ
はっ

世が世なら幼馴染の王子と幸せに結ばれるところが
誰とも知れぬ男に大事に守ってきた処女膣ブチぬかれるんだからな！
あっ…？あああぁっ！
自分が性交を行うことなど想像することさえなかった私は…男性の剛直が膣口を押し広げて挿入される瞬間においてでさえこの現実を認識できずにいたのです
いたいっ…
いたいっ…
あっ…
いっ…だっ…ぁ
わ、たし、いまおかさ…れっ
めきめき
クラウスっ…
胎内から焼かれるような激しい痛み…処女膜を裂かれ純潔を奪われる感覚は自分が女の子であることを否応なく意識させられるものでした
応えられなかったクラウスの想い…彼は私を恨めしく思っているでしょうかでも、陵辱されている私には、ゆっくりと彼との想いに馳せるような猶予は残されてはいませんでした

イクスヴェリアレポート　No3

イクスヴェリアから聞いた「第三世代マリアージュ」の特性を要約すると、

- 「第三世代マリアージュ」はこの世界に存在する生命体と交配し、子孫を増やすことができる。
- 「第三世代マリアージュ」は存在しながら周囲に「マリアージュ細胞」を散布する。

というものである。

上記の「マリアージュ細胞」に汚染された生命体はイクスヴェリアの命令により発火、爆破される危険を伴う。
また自身も「マリアージュ細胞」を周囲に散布するようになる。

「マリアージュ細胞」に一度汚染されると除去は困難で、接触および空気感染する
「マリアージュ細胞」が一度広まってしまえば、世界の命はイクスヴェリアに
握られたも同然である。

我々はさらに「マリアージュ」の分析を進めたいと思う。
感染の危険がある為、施設内に救援は不要である。
そして兵器による施設の破棄も止めたほうが良い。
これは我々の命が惜しくて言っているのではなく、施設内に蔓延した高濃度の
「マリアージュ細胞」の飛散を避けるためだ。

結論として、この施設は封鎖し、もとより存在しなかった事にして欲しい。
食料は自給できており、空間シミュレーターがある為、外出できないことによる
ストレスもない。
我々はここで研究を続けながら、判明したデータを送信し続ける。

もう一度、言っておく。
この施設、そして我々は存在しなかった事にして欲しい。
我々は意図しなかったに関わらず「第三世代マリアージュ」を生み出す結果となった。
これが明るみに出れば、聖王協会の権威は失墜する。
世界の安寧の為にも、この事実は闇に葬るべきなのだ。

2014. summer

NextPreview